

不思議！

今月のテーマは「不思議！」です。不思議な出来事の話や、著者が不思議に思ったことに関しての本を紹介します



『ふしぎな月』（絵本）

富安陽子/文 吉田尚令/絵
理論社

ふしぎな月が林の中に光を投げかけると、虫たちが一斉に羽ばたいて妖精になりました。次に、野原に光が広がると、花の種が目をさまし、あっという間に花でいっぱいになりました。そして、ふしぎな月は遠い国の空にも昇りました。そこで照らしたのは...



『オレンジ色の不思議』（児童書）

斉藤洋/作
静山社

ある時、作家である主人公は、謎の少女と出会います。それ以来、その少女が現れると必ず不思議な光景を見るようになりました。七つの短編で構成されていて、どの話にもオレンジ色が関係しています。さて、その少女の正体は？



『石ってふしぎ』

（一般書）

市川礼子/著 柏書房

子どもの頃から石に興味を持ち、「石あつめ」をしていた著者。この本では、著者が日本各地で出会った印象に残る石、不思議な石、大好きな石を紹介しています。自然の中に点在する石造物、生活の中に残る石橋や石畳等、様々な種類の石が登場します。

『教えて！宮本さん 日本人が無意識に使う日本語が不思議すぎる！』（一般書）

アン・クレシーニ 宮本隆治/著 サンマーク出版

アメリカ出身で宗像市在住の著者は、日本語を学ばば学ぶほど、その繊細さ、多様性、不思議さに悩んでいます。その悩みを元 NHK アナウンサーの宮本さんと一緒に解決していきます。



宗像市民図書館休館のお知らせ

宗像市民図書館は、令和4年3月22日（火）～3月31日（木）の間、蔵書点検とシステム機器更新のため休館します。自由ヶ丘コミセン、赤間コミセン、大島学園図書館での予約本受取りもできません。なお、この間の返却は、返却ポスト（市民図書館全館、自由ヶ丘コミセン、赤間コミセン、赤間・東郷駅構内、サンリブくりえいと宗像、宗像市役所）にお願いします。